
第 3 回 藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会

序. 検討の進め方

1. 前回の整理
2. 市民検討部会からの報告
3. まちづくりの方向性の展開

平成 22 年 11 月 25 日

【委員会スケジュール(案)】

注) ※基本構想は、概ね20年後の(2030年)頃を達成目標年次とし、10年後を中間目標地点とします。この期間に収まらない目標は超長期の目標として別途整理します。

	平成22年度 基本構想※												平成23年度 基本計画											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
藤沢駅周辺地区再整備検討委員会		●																						
					●																			
								●																
藤沢駅改良専門部会								●	●															
藤沢駅南北まちづくり市民検討部会					●	●	●	●																

【各委員会(平成22年度)の検討内容】 前回予定

第1回委員会	委員委嘱、検討の目的とスケジュール等について
第2回委員会	課題の整理、将来展望、まちづくりの方向性など
第3回委員会	第2回委員会意見の反映、各部会報告の反映 ⇒中間的まとめ
第4回委員会	第3回委員会意見の反映、各部会報告の反映 ⇒基本構想(案)のとりまとめ

【各委員会(平成22年度)の検討内容】 変更案

第1回委員会	委員委嘱、検討の目的とスケジュール等について
第2回委員会	課題の整理、将来展望、まちづくりの方向性など
第3回委員会	第2回委員会意見の反映、各部会報告の反映 ⇒方向づけ
第4回委員会	第3回委員会意見の反映、各部会報告の反映 ⇒基本構想(案)まとめ

第2回委員会の提示事項

1. 地区の現況の評価

2. 地区の課題の整理

3. 地区の将来展望(案)

地区の課題をもとに、本地区の将来像を整理します。

4. まちづくりの方向性(案)

地区の将来像を実現するためのまちづくりの方向性を項目別に整理します。

◆ 第2回委員会の指摘事項

- ・藤沢市都心部として特徴的な課題を深掘りすることが必要
- ・市民目線の課題や来街者目線の課題が必要
- ・役割やできることとできそうもないことに分けて優先順位をつける。
- ・中心部は歩いて楽しめることが前提で、活力のある場づくりが必要
- ・2区分ではなく細区分が必要

◆ 市民検討部会での対応方針

- ・オールジャパンの中心商業地の課題ではなく、藤沢特有の観点での検討が必要
- ・早期に対応すべき地区として、中心商業地(コアゾーン・サポートゾーン)を中心に検討
- ・中心商業地の特性を活かし、本地区らしい方向性を見出すために、大胆な仮説をおいてみて戦略を検討し、現状との乖離から本地区独自の課題を抽出

【第3回委員会の検討概要】

第3回委員会の提示事項

1. 前回の整理

前回の指摘事項と提示対応方針を整理します。

2. 市民検討部会からの報告

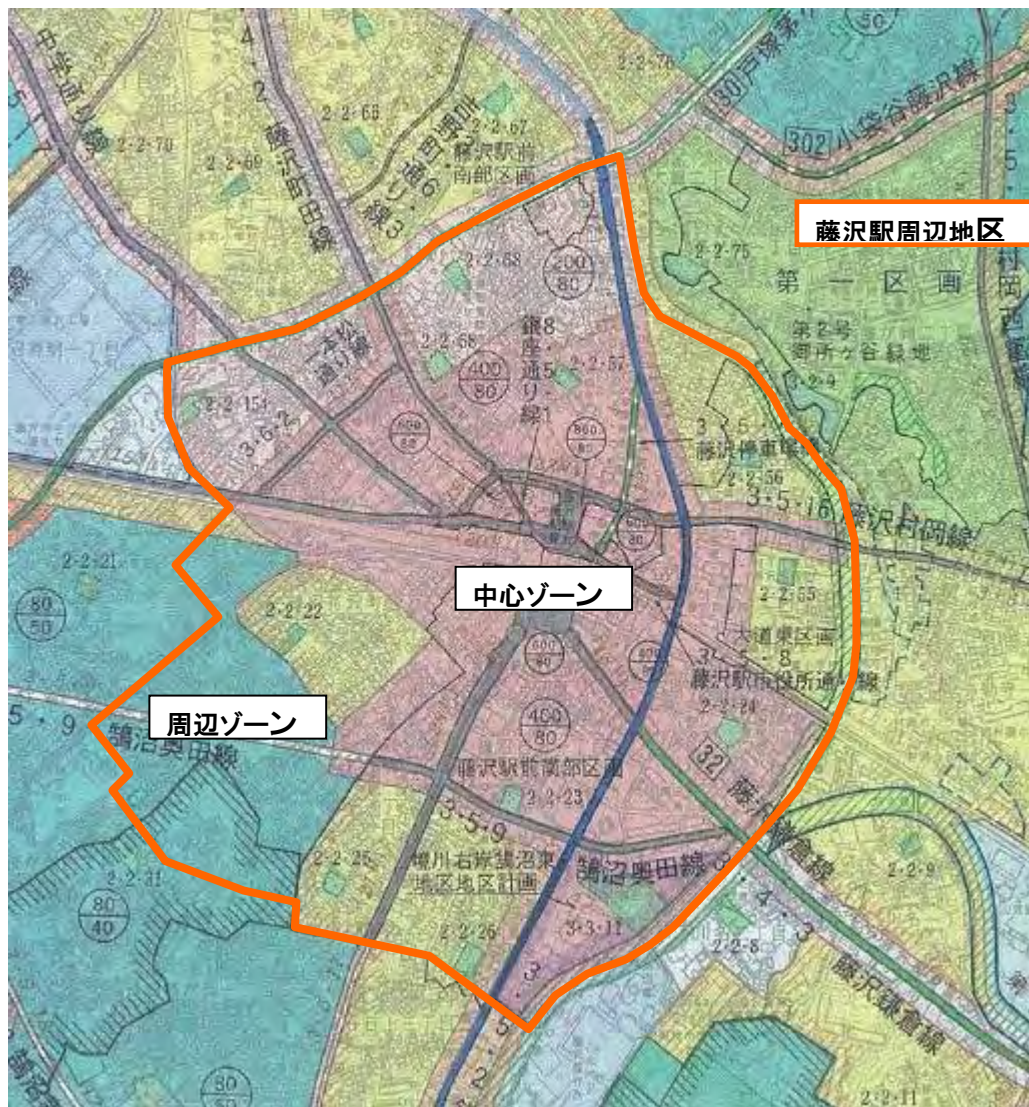
藤沢駅南北まちづくり市民検討部会で検討を行なった藤沢独自の課題やそれに対する戦略の検討内容を報告します。

3. まちづくりの方向性の展開

まちづくりの方向性を地区に具体的に展開します。

◆第2回委員会等での指摘事項

- ・課題を網羅的に整理したうえで、藤沢市都心部として特徴的な課題を深掘りする必要がある。
- ・市民目線の課題や来街者目線の課題が欠けている。
- ・文化やライフスタイルの発信源がなくなってきたのが衰退の原因になっている。
- ・藤沢は自然も文化もあるので、優先順位をつけるとQOLが見えてくる。
- ・中心部は歩いて楽しめることが前提で、活力のある場づくりが必要である。
- ・本地区の役割を、できることとできそうもないことに分けて考えたほうがまとめやすい。
- ・多様な地区を含んでいるので、中心ゾーンと周辺ゾーンの2区分ではなく細区分が必要である。



市の優位性を伸ばす展開と可能性

【藤沢市はまだ活力がある】

市の中心的な都市拠点としてのポテンシャルを活かした活力を向上させる。

- ・一日約38万人の乗降客数
- ・観光地への中継点
- ・既存の商業集積

【藤沢市には他にない特色がある】

湘南地域への玄関口の立地を活かした湘南ブランドを展開する。

- ・湘南をコンセプトとしたまちなみ演出
- ・まちなかで湘南の風
- ・歴史資源や文化資源

【藤沢市には恵まれた自然がある】

中心市街地での緑地の確保や海の恩恵を享受し、環境と共生するまちをつくる。

- ・中心市街地としては多い緑
- ・ヒートアイランドの予防

【藤沢市には得がたい利便性がある】

中心市街地であることの利便性を最大限に活かしていく。

- ・公共交通拠点としてのアクセスの良さ
- ・各種公共公益施設の集中
- ・移動しやすい平坦な地形

将来展望

にぎわいと活力の創出

湘南の玄関口づくり

環境との共生推進

利便性の向上

対象	内容	まちづくりの方針(案)
都市基盤施設の整備の方向性	交通結節点のまちづくりの方向性	駅や駅前広場などの交通結節点は、利用者が分かりやすく、乗換えしやすいように配慮するとともに、多くの人が集まる場所であることから、ユニバーサルデザイン化や景観等に配慮します。
	地区の南北連携の方向性	本地区は鉄道により南北が分断されており、南北ネットワークが充分ではないことから、自動車、歩行者のネットワークを充実することにより、駅南北連携の強化を図っていきます。
	自動車動線整備の方向性	段階構成のとれた幹線道路ネットワークを構築するとともに、道路が未整備な地区では既存ストックを活用しつつ、日常生活の利便性や災害時の安全性を確保できるように配慮します。
	歩行者動線整備の方向性	交通量の多いエリアや利用度の高い主要な公益施設や民間施設に対しては、安全で快適に通行、誘導ができるように歩行者動線の充実に配慮します。
	公園・緑地整備の方向性	環境や人に優しい地区となるように、公園の配置や、公共公益施設や民有地での緑化の推進に配慮します。
	その他の施設の整備の方向性	地区内の公益施設については維持保全するとともに、適切に更新していきます。
土地利用誘導の方向性	商業地のまちづくりの方向性	中心商業地として健全な商業環境を維持していくとともに、人を引き付ける特色のある商業地の形成を図り、活気のあるまちとなるように配慮します。
	住宅地のまちづくりの方向性	様々な世代の人が快適に生活できるような住宅の供給誘導を図るとともに、それを支える生活環境の充実を図っていきます。
特色あるまちづくり推進の方向性	藤沢らしさづくりの方向性	湘南の玄関口である本地区立地を活かしていくために、湘南にふさわしいまちなみや機能などの導入に配慮します。
市民参加の方向性	市民主体のまちづくりの方向性	分権が進む中、市民が主体的にまちづくりに参加してエリアマネジメントを進めていきます。

交通結節点のまちづくりの方向性

- ・JR線と小田急線、江ノ島電鉄の各駅が相互に利用しやすい動線となるようにしていきます。
- ・駅と駅前広場は相互にアクセスしやすいように段差の解消や誘導を行なっていきます。
- ・交通結節点として、市や地区、乗り換え等の情報、案内を提供できる機能や集客機能などを充実していきます。
- ・地球環境に配慮してバス等の公共交通機関へのさらなる転換、充実を図っていきます。
- ・市の都心及び広域拠点としてふさわしくなるよう、景観形成に配慮していきます。

地区の南北連携の方向性

- ・中心市街地にふさわしい南北の機能を連携できる南北動線の充実を図っていきます。

自動車動線整備の方向性

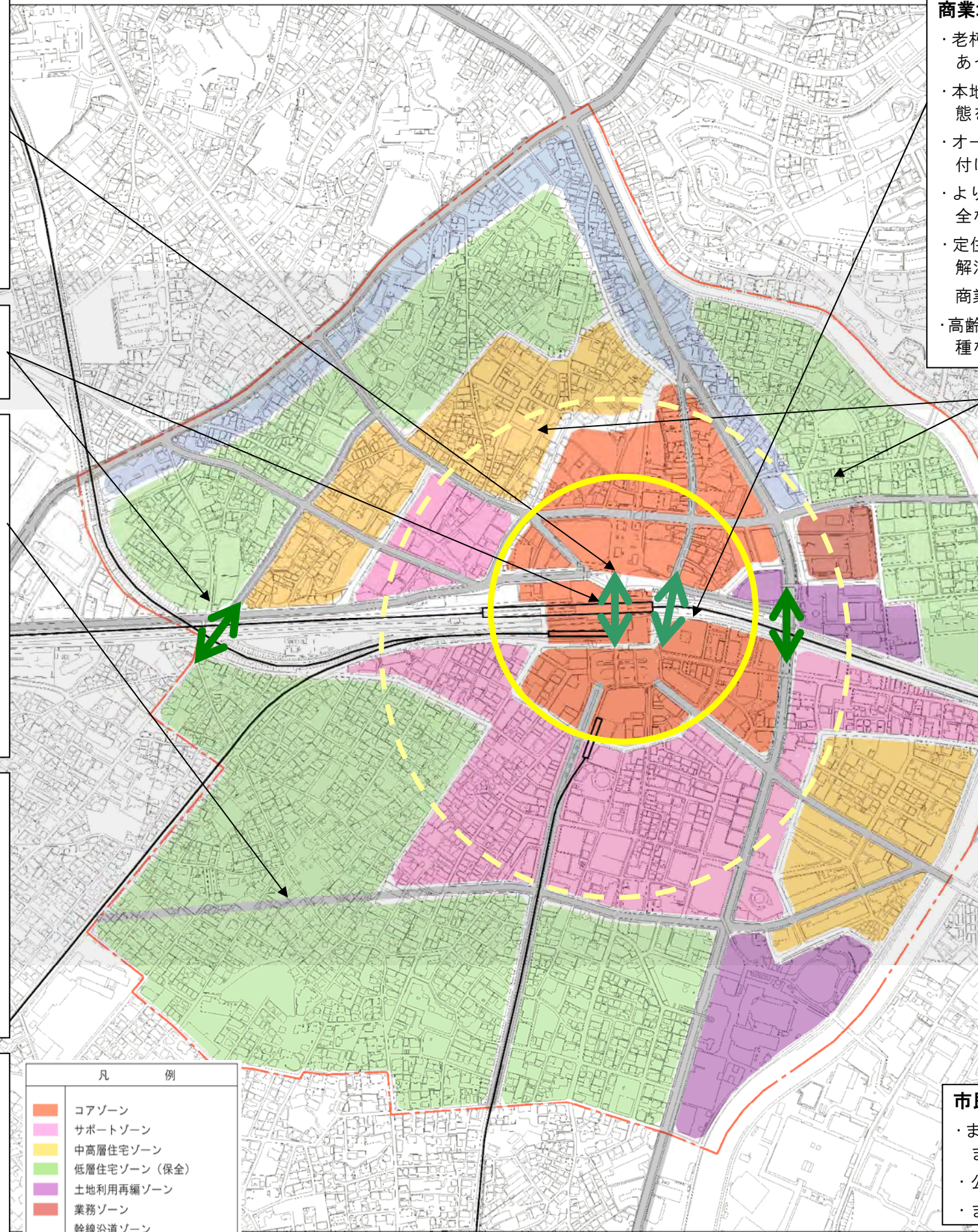
- ・都市計画道路の見直しを受けつつ、安全で利用しやすい幹線道路ネットワークの整備を進めていきます
- ・幹線道路等の歩道については、バリアフリーとなるように段差の解消を推進するとともに、地域の実情に合わせて歩行者と自転車が共存できる空間となるよう検討を進めます。
- ・幹線道路が未整備な区間については、事業手法等を検討し、合意形成を図って整備を進めていきます。
- ・区画道路の幅員やネットワークが未整備な住宅地については、主要な集散道路の整備を図るとともに、既存道路の活用も含めた地先道路の改善を図っていきます。
- ・危険な道路や交差点などは改善を進めていきます。

歩行者動線整備の方向性

- ・主要な道路についてはできるだけ歩道を設置するとともに、目的地となる施設へのルートについては歩行者専用道路や歩行者優先道路の整備、改善を進めていきます。
- ・歩行者ネットワークは誰もが安全で快適に利用ができるように、バリアフリーの推進やサインの設置などを進めていきます。
- ・平坦な地形を活かした中心部と周辺市街地のアクセスとして、環境負荷の少ない自転車をさらに活用できるように、基盤やシステムの検討を進めます。

公園・緑地整備の方向性

- ・緑の基本計画をもとに公園の配置を進めていきます。
- ・緑が不足しがちな中心市街地において、景観や環境共生に配慮した緑地の配置や壁面緑化などを進めていきます。
- ・地区の微気候調整を図り、ヒートアイランドを緩和するために、風の道の確保を進めていきます。



商業地のまちづくりの方向性

- ・老朽化した商業施設や陳腐化した施設は更新を図り、時代にあった安全で快適な商業地づくりを進めます。
- ・本地区ならではの海や自然、湘南などテーマ性のある業種業態を集積し、集客力のある商業地づくりを進めます。
- ・オープンカフェやまちかどステージなどを配置し、人を引き付けるにぎわいのある商業地づくりを進めていきます。
- ・よりよい業種業態への誘導を図るとともに、景観に優れた健全な商業地づくりを進めます。
- ・定住人口、交流人口が多く集まる場所であることから、段差解消やサインの設置などユニバーサルデザインに配慮した商業地づくりを進めます。
- ・高齢者などが魅力を感じて集まってくるような都市機能や業種などが集積したまちづくりを進めます。

住宅地のまちづくりの方向性

- ・中心ゾーンでは、少子化による地区の活気の低下に配慮して若い世代が住むことのできる都市型住宅の供給誘導や子育て支援の環境づくりを進めます。
- ・周辺ゾーン南側では、ゆとりのある緑豊かな敷地の低層住宅地を中心としたまちづくりの誘導を図ります。
- ・周辺ゾーン北側では、公園整備や狭隘道路の整備改善により防災環境の改善を図っていきます。
- ・高齢者に利便性の高い中心市街地で居住できるように福祉施設や介護施設の整った住宅の配置を進めていきます。
- ・低層住宅地では、高さや用途の混在が進行しないように対応を進めます。

その他の施設の整備の方向性

- ・中心市街地の利便性を担保する要素である公益施設の保全を図るとともに、老朽化した施設については適宜更新を図っていきます。

藤沢らしさづくりの方向性

- ・湘南の玄関口であることを活かしたまちなみの形成や、機能の誘導を進めていきます。
- ・湘南の風を感じることでできる風の道づくりを進めていきます。
- ・地区の歴史や文化などを発信する活動や場の提供を進めていきます。

市民主体のまちづくりの方向性

- ・まちづくりの計画づくりやアイデア出しなどを進めていきます。
- ・公共施設等の運営管理を進めていきます。
- ・まちなかで行うイベント企画などを進めていきます。